

くふう じっしゅう しょうらい かんが じょうほうきょういく 工夫をこらした実習で将来を考える情報教育

聖母被昇天学院中・高等学校

大阪府の北部、箕面の山のもとにある聖母被昇天学院中学校・高等学校は、「学年二クラスの小さな学校」。

少人数教育が特長で、フリーキャスターの進藤晶子さんなど実社会で活躍されている卒業生も多く、工夫を凝らした実習の多い情報教育でも有名です。

高校一年生の「情報C」の授業を見学させていただき、中学校での情報教育について、担当の鹿嶋三和子先生に、高等学校については、坂東永智先生と岡本弘之先生にお話をうかがいました。



▲思い思いに課題のCM制作を行う聖母被昇天学院高等学校二年生の生徒さんと岡本先生(右)

中学校での学習―基本

「中学校では、一年生と二年生の技術家庭科の中でコンピュータを使った授業を取り入れています。まず最初に、インターネットの検索エンジンの使い方、ワードで簡単な文書が作れるように指導します。二年生では「自己紹介」をテーマとして、パワーポイントで資料を作り、プレゼンテーション(発表)をします。自分の好きなことなどを発表するので生徒たちは楽しんでますよ。人前で発表することで自信もつくようです。」

中学校での学習―応用

また、生徒が知らないような検索エンジンの便利な使い方や、いろいろな検索の方法があるんだよ、ということも教えます。同時にワードで簡単な文書が作れるように指導します。二年生では「自己紹介」をテーマとして、パワーポイントで資料を作り、プレゼンテーション(発表)をします。自分の好きなことなどを発表するので生徒たちは楽しんでますよ。人前で発表することで自信もつくようです。」

三年生になると技術家庭科の授業の中で特にコンピュータの学習はしません。二、三年生で学習した基礎をもとに調べ物などはコンピュータを使って行っています(以上、鹿嶋先生)

高等学校では、さらに深く学習

高等学校では、中学校で身に付けたスキル(技能)をさらに深めます。授業は基本的に教師二人のチームティーチングで行い、二年生は、必修科目として「情報A」を週一時間学びます。二年生では、「情報C」が



▲完成間近のCM画面(写真はスライドショーの静止画面)を見つめながらチェックする生徒さん

週二時間の選択科目になるのですが、約四分の三の生徒が選択します。「情報だけでなく、総合的な学習の時間でも、将来どんな職業に就きたいかなどを考えるため、生徒はいろいろな所を訪ねたり、調べたりしています(岡本先生)」

写真と音楽、メッセージを組み合わせた二分程度のものにすること、キヤッチコピーを入れること、という条件をクリアしたCMをパワーポイントのスライドショー機能を使って作成していきます。

「岡本先生「質問です」と、生徒さんたちと岡本先生の元気が声が飛び交っています。」

工夫を凝らした実習を数多く実施

見学させていただいた授業では、日本の実在する生命保険会社のテレビCMを見本として研究し、生徒のみなさんがCM制作をしていました。テーマは自由ですが、何らかのメッセージを発信する内容にすること、複数の

「この試みもそうですが、大まかな説明をしただけで生徒は基本的に自分たちで進めていきます。ポスター制作などでもかなりおもしろい作品を作りますよ。」

情報の授業は、生徒が興味を持つようなことを題材として考えた実習が

気をつけていること

「二番は、「情報嫌い」を作らないことです。もちろん、モラルやセキュリティはきちん教えなければならぬのですが、あまり「あれもダメ」「これもダメ」と押しさえつければかきかき、生徒も情報嫌いになってしまいます。教師は、重要な場面のみを判断して出ていくようにしています。また、コンピュータを通してメールやチャットをする際、見えない相手に情報を流すこわさ、相手が見えなくても批判すること

日本情報教育検定協会主催 第五十三回パソコン検定試験Ⅲ種二級合格者(追加)

- 【宮城県】中村七波(東京都)八藤磨生(愛知県)荒田福太郎(稲垣好美(加藤敏也(木田裕介(大阪府)前原裕磨

第五十四回パソコン検定試験Ⅲ種二級合格者

- (平成十六年八月二十九日実施)
- 【北海道】梅本祥平(埼玉県)阿波連舞(東京都)小杉達也(菅原夢(丸山勝大(長野県)高橋真理(静岡県)橋本祐未(愛知県)荒木寛也(今岡史歩(塚本英樹(宮瀬理沙

第五十五回パソコン検定試験Ⅲ種二級合格者

- (平成十六年十月二十四日実施)
- 【北海道】日沼若菜(高木瞭(平井康義(埼玉県)杜澤岳彦(東京都)小島庸輔(岐阜県)鶴飼翔平(高橋輝充(静岡県)岩瀬たえ(小曾貴士(愛知県)木村直安(森部真道(山野友裕(三重県)板垣紗更(庄山慧(鈴木麻衣(兵庫県)入江祐紀(大阪府)犬石瞳(敬称略)

は書いてはいけない、など最低限のルールをきちんと教えることです(坂東先生)

「情報社会のモラルも、基本的には、日常生活でのモラルと同じです。」

インターネットなどコンピュータを通れば許されるということは当然ありません。ネット上であろうが、現実であろうが、いけないことはいけない、ということとは情報の学習を通じて少しずつ身に付けていきます(岡本先生)



聖母被昇天学院中・高等学校 (左から)岡本弘之先生・坂東永智先生・鹿嶋三和子先生